

平成24(2012)年度

私たちの村の予算

～ 村民との協働のむらづくりを目指して ～

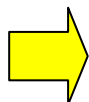


佐井小学校4年生による職場訪問
(総合学習)

佐井村

平成24年度は、こんな事業を進めます

1. 川目・磯谷・長後地区集会施設の改修工事
2. 見守りシステムネットワーク事業
3. 各種がん検診の無料化



特定検診は従来どおり各保険者（国保・社保など）により、健診費用が異なりますので、「広報さい」や健診申込み時のお知らせなどで確認してください。

4. 医師招へい事業
5. 水産基盤整備事業（並型魚礁設置工事）
6. 橋梁修繕事業
7. 消防高機能指令センター整備負担金事業
8. S a i ツーリズム構築推進プロジェクト事業（地域おこし協力隊）

（平成23年度から繰越した事業）

1. 津波ハザードマップ作成事業（県が作成する最新の浸水予測図を基に作成）
2. 衛星携帯電話等購入事業（災害時対応用として各地区集会施設等に配備）
3. 消防団安全対策設備購入事業

データで見る佐井村の予算

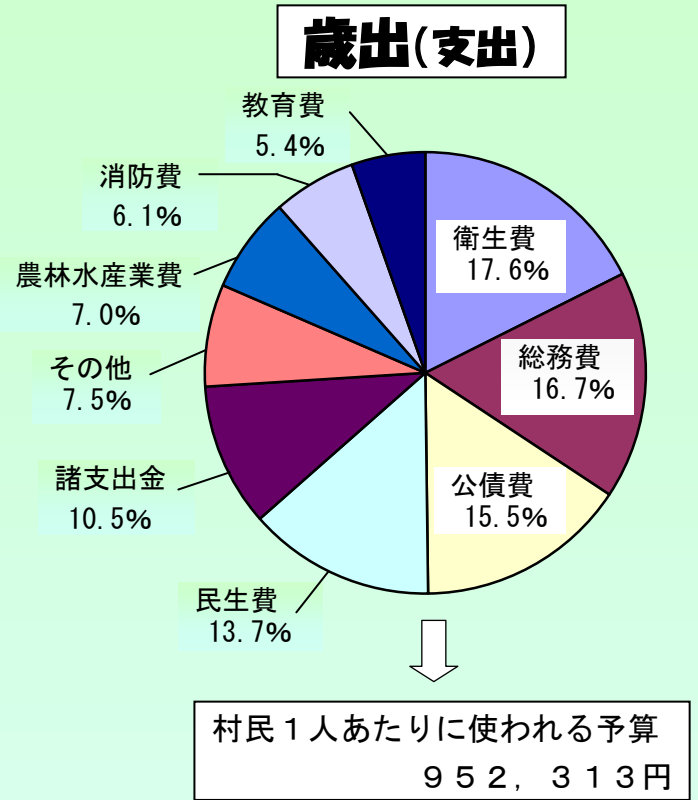
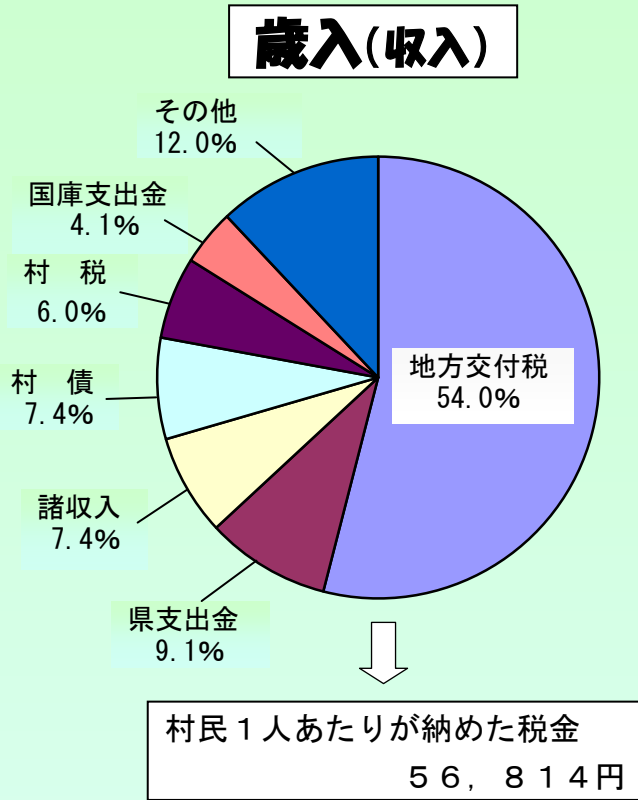
平成24年度の予算総額は、

33億1,205万3千円 です。

区 分	平成24年度予算額	平成23年度予算額	増減額	
一 般 会 計	23億3,602万5千円	23億3,442万7千円	159万8千円	
特 別 会 計	簡易水道事業	7,416万円	7,455万6千円	△39万6千円
	下水道事業	1億7,280万2千円	1億6,655万9千円	624万3千円
	国民健康保険	4億4,020万7千円	4億2,351万8千円	1,668万9千円
	介護保険	2億6,562万5千円	2億5,018万7千円	1,543万8千円
	後期高齢者医療	2,323万4千円	2,343万7千円	△20万3千円
合 計	33億1,205万3千円	32億7,268万4千円	3,936万9千円	

一般会計

一般会計は、村の予算の中心となるもので、福祉、教育、道路、漁港の整備などのお金は、この財布から出し入れしています。

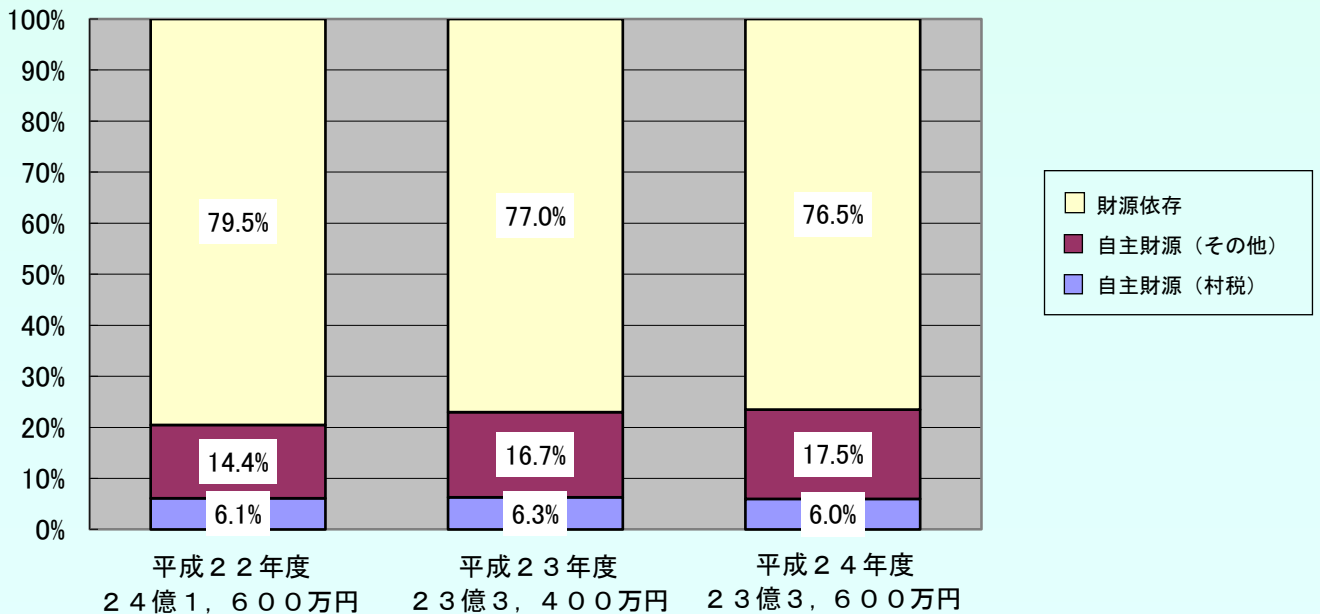


※平成24年3月1日現在の住基人口(2,453人)で算出

◇自主財源と依存財源

村の歳入(=収入)のより所を財源といい、このうち税金のように村が自分で集めるものを自主財源、国や県からもらう補助金などを依存財源といいます。

自主財源の割合が高ければ、それだけ自主的、安定的に事業が進められますが、人口が減少傾向にあり、大きな企業がない当村にとっては、自主財源の確保が課題となっています。



特別会計

村には、一般会計のほかに、特別会計があります。

特別会計は、決まった仕事について、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の5つの特別会計があります。

簡易水道事業特別会計

7, 416万円

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理を行い、安定した飲料水の供給に努めていきます。

歳入

水道使用料等 4, 048万4千円
 一般会計からの繰入金 3, 367万6千円

歳出

施設の維持管理費等 2, 577万5千円
 借入金の返済（公債費） 4, 818万5千円
 その他 20万円

業務の予定量

給水戸数 …… 1, 169戸
 年間総配水量 …… 33万6, 952m³
 1m³の水の給水に要した経費（給水原価）… 348. 64円
 1m³の水の供給に要した経費（供給単価）… 185. 77円



下水道事業特別会計

1億7, 280万2千円

生活雑排水などの河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いのある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理（5施設）に努めていきます。

歳入

下水道使用料等 1, 225万8千円
 一般会計からの繰入金 9, 384万3千円
 借入金（村債） 6, 670万円
 その他 1千円

歳出

施設の維持管理費等 4, 150万4千円
 借入金の返済（公債費） 1億3, 089万8千円
 その他 40万円

加入状況（平成24年2月末現在）

- 牛滝地区漁業集落排水処理事業
 → 平成9年供用開始 加入率 92%
- 福浦地区漁業集落排水処理事業
 → 平成13年供用開始 加入率 84%
- 長後地区漁業集落排水処理事業
 → 平成14年供用開始 加入率 54%
- 磯谷地区漁業集落排水処理事業
 → 平成17年供用開始 加入率 46%
- 佐井地区特定環境保全公共下水道事業
 → 平成21年供用開始 加入率 26%

【 下水道接続(加入)のお願い 】

海の水質は、家庭や事業所からの排水などにより悪化するため、漁業を主幹産業とする佐井村にとって、緊急に改善したい問題となっています。

下水道は浄化した水を放流するため、海や川の自然環境を守るとともに、側溝や水路などを衛生的に維持できます。

このことから、下水道の接続および汲み取り便所の改造による水洗化を、すみやかに実施されるようお願いいたします。

国民健康保険特別会計

4億4,020万7千円

病気やケガのときに必要な保険給付などを通して、みなさんの健康を支える制度です。

歳入	国民健康保険税	9,617万1千円
	県や国からの補助	1億7,516万円
	高額医療費共同事業交付金	5,584万9千円
	前期高齢者交付金	7,500万1千円
	一般会計からの繰入金	2,936万9千円
	その他	865万7千円
歳出	保険給付費	2億8,673万円
	後期高齢者支援金等	5,001万円
	保健事業費	583万4千円
	介護納付金	2,572万6千円
	共同事業拠出金	5,972万円
	その他	1,218万7千円



国民健康保険ゲートボール大会

介護保険特別会計

2億6,562万5千円

40歳以上の方が被保険者となって保険料を納め、介護が必要となったときには、介護予防サービスや介護サービスを利用できるように保険給付などを行うものです。

歳入	保険料	4,221万4千円
	国や県からの補助	1億706万6千円
	支払基金交付金	7,330万5千円
	一般会計などからの繰入金	4,193万1千円
	その他	110万9千円

歳出	保険給付費	2億5,233万円
	地域支援事業費	355万8千円
	その他	973万7千円



原田・川目地区合同での介護予防教室

後期高齢者医療特別会計

2,323万4千円

高齢化にともなう医療費の増大が見込まれる中で、高齢者世代と若年世代の負担の明確化などを図る観点から、75歳以上の高齢者などを対象とした医療制度です。

歳入	保険料	1,144万2千円
	一般会計からの繰入金	1,133万3千円
	その他	45万9千円

歳出	広域連合納付金	2,196万9千円
	その他	126万5千円



議会費 5,024万円

(うち人件費: 4,874万円)

【平成22年度決算額】

3,982万円

- 議会だよりの発行 27万円
- 村議会議員(8人)への報酬・手当など 3,430万円
夜間議会や、各地区において議会報告会を開催します。



総務費 3億9,040万円

(うち人件費: 1億6,419万円)

【平成22年度決算額】7億4,685万円

津軽海峡文化館アルサス改修事業 2,514万円
地域情報通信基盤整備事業 2億3,152万円 など

村有財産の管理

- 各地区集会施設の指定管理委託料 164万円
- 川目・磯谷・長後地区集会所改修工事 3,900万円
平成23年度に引き続き、各地区集会施設の改修工事を行います。

むらづくり基本条例関連事業

- 住民提案型支援事業補助金 200万円

企画関連事業の推進

- S a i ツーリズム構築推進プロジェクト事業 656万円



- ゆるキャラ導入事業 110万円
ご当地の代名詞となり得る、佐井村の「ゆるキャラ」を導入します。

交通対策

- 生活路線維持費補助金 43万円
下北交通(株)のむつ・佐井線、磯谷線の運行経費の赤字分に対して路線維持のための補助を行います。
- 過疎地有償運送事業運営補助金 261万円
ボランティア輸送事業の運営主体である社会福祉協議会へ、事業運営費の補助を行います。

原子力発電の安全性に対する理解の推進

- 管内小中学生に対する施設見学会 44万円
- 一般住民先例地視察研修 173万円

広報広聴活動の推進

- 「広報さい」の発行 91万円

コミュニティ活動の推進

- 行政連絡員・補助員への報酬 156万円
- 地区会・町内会への補助金 139万円
コミュニティ団体である地区会・町内会の各種活動に対する活動経費への助成を行います。

行政の効率化、データの収集・管理

- 総合行政情報システムなどの運営 6,849万円
住民記録、税務、国保、介護保険等の基幹業務に係る電算処理を行います。

地域情報通信関連事業

- 地域情報通信(ICT)の活用、維持・管理 969万円
光ファイバ網を活用した告知端末および小型画像情報端末機(サイボード)の利活用の検討や、維持管理を行います。

村税の徴収率の向上

- 納税組合に対する報償金 101万円
村税の徴収率向上のため、各納税組合の徴収額などに応じて、報償金の支払を行います。
- 納税貯蓄組合連合会運営補助金 20万円
納税に関する理解の醸成および、会の活動経費に対する補助を行います。

個人納付のほか、納税組合や口座振替を利用して納期内納付に努めましょう。

選挙業務

- 201万円
○海区漁業調整委員会委員選挙が予定されています。

民生費

3億2,095万円
(うち人件費:5,499万円)

施設の管理運営

- 社会福祉協議会運営補助金 872万円
法人運営のための事務的な経費を補助します。
- 高齢者生活福祉センター委託 1,023万円
指定管理者制度の導入により「あすなろ」の管理運営を社会福祉協議会へ委託しています。

高齢者への福祉

- ほのぼのコミュニティ21推進事業 539万円
ほのぼの交流グループや民生委員と連携して、高齢者世帯の訪問などを行います。
- 見守りシステムネットワーク事業 100万円
各家庭に設置されている小型画像情報端末機(サイボード)の応答機能を活用して、高齢者の見守りや支援を行います。

青少年・児童への福祉

- ひとり親家庭等への医療費助成 123万円
- 子ども手当の支給 2,530万円

【平成22年度決算額】 3億 49万円

保育所運営事業 4,217万円
児童手当・子ども手当などの支給 2,977万円 など



街路灯管理事業

- 防犯灯(街灯)改修工事 241万円
通学路を中心に、防犯灯(街灯)をLED防犯灯に改修します。

障がい者への福祉

- 障がい者の自立支援介護給付費など 5,872万円

衛生費

4億1,176万円
(うち人件費:4,354万円)

保健対策の充実

- 患者輸送事業 1,050万円
大間病院および、川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。
- 各種予防接種の実施 1,367万円
- 医師招へい事業 10万円

○各種健(検)診の実施 606万円

各種がん検診の無料化により、検診を受けやすい体制を整え、住民の健康増進に努めます。

特定健診の料金は、保険者ごとに異なりますので、注意してください。



子育て支援対策の強化

- 乳幼児はつらつ育成事業 325万円
- 児童・生徒医療費給付事業 527万円
乳児から中学生まで、入院・通院ともに医療費が無料となります。

【平成22年度決算額】 3億8,921万円

各種予防接種事業 675万円
患者輸送事業コミュニティバス 996万円 など

環境保全・環境衛生への取り組み

- 佐井村斎場の運営 495万円
佐井村斎場の維持運営を指定管理者に委託します。
- 合併処理浄化槽設置整備事業 100万円
生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する方に対して、予算の範囲以内で補助金を交付します。

ごみ・し尿の収集処理

- 環境保全美化の推進 259万円
ごみの分別収集による指定ゴミ袋の制作、販売店への取扱委託を行います。
- ごみ収集・処理 1億1,320万円
一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する費用です。
- 不燃物処理施設の管理運営 667万円
不燃物処理施設の適正な管理を行います。
- し尿処理 3,728万円
共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。



農林水産業費 1億6,411万円

(うち人件費：2,433万円)

農業の振興

- 原田中山間地域等直接支払交付金 101万円
- 中山間地域総合整備事業 100万円
複数の市町村にまたがる広域的な地域を対象とした整備事業に取り組むための「農村振興実施計画」を作成します。
- 農地・水保全管理支払制度事業 41万円
地域共同で行う農地・水路などの資源の日常管理と、農村環境向上のための活動を支援します。

林業の振興

- 有害鳥獣駆除対策 1,457万円

ニホンザル保護管理専門員を育成するとともに、鳥獣被害対策実施隊や、モンキー犬を活用して、主にサルの追払いを行います。
また、電気柵の設置作業(川目地区)の講習や、設置を行います。



佐井村に配属されたモンキー犬「ラブ」

【平成22年度決算額】 2億6,487万円

有害鳥獣駆除対策 1,428万円
水産振興基金事業補助 2,656万円 など

- 森林整備地域活動支援事業 200万円
人工林の所有界の確認、区域界の刈り払いなどの作業、施業箇所までの既設の作業道の補修や歩道の新設を行います。
- フォーレストパーク管理事業 415万円

畜産の振興

- 畜産導入事業 241万円
- 公共牧場管理委託 213万円

水産基盤の整備

- 並型魚礁設置工事 2,732万円
- 福浦漁港施設現況調査 1,016万円
漁港の機能保全のために、施設現状調査を行います。
- 牛滝漁港整備負担金 2,300万円
県の事業費2億3,000万円の1割負担分です。

水産業の振興

- 水産振興事業補助金 3,055万円
佐井村漁協が行う水産振興計画に基づく、各種水産振興事業や、新商品開発支援事業に対して補助を行います。

商工費 4,529万円

(うち人件費：722万円)

商工業の振興

- 商工会育成補助金 199万円
主に人件費補助に要する費用です。
- 夏まつりイベント補助(花火大会) 50万円

観光の振興

- 観光協会への補助 236万円
主に臨時職員の人件費補助に要する費用です。
- 願掛公園管理運営事業 411万円
- 防波堤壁画事業 39万円
参加者を募集します。
- 福浦の歌舞伎上演 30万円
旅行会社のバスツアーなどを活用し、村内外の多くの方が観覧できるような上演を目指します。

【平成22年度決算額】 4,669万円

東北新幹線全線開業活用効果事業 590万円
仏ヶ浦駐車場看板整備事業 208万円 など

- 観光用道路案内標識設置工事 200万円
- 東北新幹線全線開業効果活用事業 548万円

平成23年度に作成した佐井村のCMを、首都圏大型ビジョンにより放映します。全線開業となった東北新幹線の効果を活用し、佐井村への集客を図ります。



CM撮影のために来村した出演者のみなさん

土木費

6, 921万円

(うち人件費：1, 567万円)

急傾斜地対策

○磯谷区域急傾斜地対策事業負担金 150万円

○原田区域急傾斜地対策事業負担金 200万円

磯谷地区および原田地区の急傾斜地対策工事を継続します。

港湾の整備

○仏ヶ浦港湾改修事業 500万円

県事業費4, 000万円の12.5%負担に要する費用です。防波堤の整備を進めます。

道路の管理・整備

○道路維持管理業務 188万円

村道の維持補修並びに併用林道の維持補修を行い、道路の維持管理に努めます。また、手押し式の除雪機を3台購入します。

○仏ヶ浦駐車帯管理業務 43万円

【平成22年度決算額】 8, 616万円

村道福浦川目線整備事業 1, 110万円

村道糠森臨港線舗装改修事業 2, 396万円 など

○橋梁修繕事業 4, 091万円

橋梁の長寿命化のため、修繕工事を行います。

○除排雪対策 473万円

村道の冬期間の交通確保と、公共施設内の除排雪を行います。



平成24年2月1日から降り積もった大雪の様子(古佐井地区)

消防費

1億4, 247万円

これとは別に、電源立地地域対策交付金を活用して、消防分署職員の人件費の一部8, 790万円を負担しています。

消防への負担金

○広域事務組合常備消防へ 1億1, 951万円

市町村共同で行っている消防分署の費用負担です。消防本部(むつ市)を拠点とした、高機能指令センター整備に係る負担金も含まれています。

○広域事務組合非常備消防へ 1, 979万円

佐井村消防団のための費用を負担します。



防災訓練での救急救命訓練

【平成22年度決算額】 1億 874万円

広域事務組合常備・非常備消防への負担金

9, 395万円 など

【平成23年度からの繰越事業】

○津波ハザードマップの作成 306万円

県が作成する最新の浸水予測図を基に作成します。

○衛星携帯電話等購入事業 551万円

災害時に孤立の可能性がある集落に対し、衛星携帯電話等の配備をします。

○消防団安全対策設備整備事業 194万円

災害発生時の夜間における、消防団員の生命および安全の確保のため、投光機や発電機などの配備を行います。

消防施設の整備

○消火栓の更新 80万円

防災対策

○防災訓練 10万円



災害に備えて避難経路や、避難場所の確認をしておきましょう。

教育費

1億2,527万円
(うち人件費:6,647万円)

【平成22年度決算額】1億6,034万円
佐井中学校スクールバス購入 1,453万円
佐井小学校バックネット改修工事 863万円 など

学校教育・学校施設の充実

- 外国語指導助手(ALT)の配置 535万円
小学校高学年および中学生の英語力向上のため、ALTを配置します。
- 学習支援推進事業 272万円
村で講師を雇用し、きめ細かく質の高い学習指導により、個性豊かな人材形成と学力の定着を図ります。



- 学校支援推進事業 115万円
特別支援学級の介助や校外活動の支援、登下校時の安全指導などを行います。
- 各種大会派遣費の助成 99万円
小中学生の各種大会参加派遣費へ助成を行います。
- 奨学金の貸付 760万円
就学に係る経費の軽減を図るため、奨学金の貸付を行います。現在の貸付金の原資は、これまでの奨学生の返還金によって賄われています。

社会体育の振興

- スポーツ団体への補助 143万円
体育協会などへの補助金です。

公民館活動の充実

- 成人式の開催 18万円
- 各種公民館活動 57万円
生涯学習や地域交流の場として、各種講座や学級を開設します。

社会教育の充実

- 海峡ミュージアム運営事業 140万円
- 三上剛太郎生家運営事業 150万円
- 民俗文化財保存活用事業 39万円
2年に1度開催される佐井村郷土芸能発表会は、今年度20回目の記念大会となります。
- 放課後子どもプラン事業 158万円
放課後に小学校の空教室を活用し、地域住民の協力の下、放課後子ども教室を開設し、子どもたちと一緒に勉強やスポーツなどの交流活動を行います。



子ども教室での制作活動

諸支出金

2億4,483万円

下北医療センター支出金

- 佐井診療所の不良債務解消 4,000万円
これまでの診療所の累積債務約2億3千万円の解消に、20年度から6年かけて取り組んでいます。
- 下北医療センターへの貸付金 1億円
下北医療センターおよび、佐井地区診療所の資金繰り経費の一部の貸付に要する経費です。



乳幼児健診での歯科検診

佐井村の台所事情 ～ 県内40市町村中のデータ・ランキング(平成22年度) ～

村の台所事情をあらわす「財政指標」には、様々なものがありますが、代表的で比較的わかりやすいものを示しました。順位は県内の40市町村のうちで、佐井村がどの位置にあるかという目安を示したもので、優劣を比較するものではありません。

財政力指数 0.107 (38位/40市町村)

通常確保できると考えられる収入

標準的な仕事をするのに必要と見込まれる支出(過去3年間の平均)

村のふところぐあいを表すもので「1」を超える場合には、国からの援助(普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振るものです)がなくなります。また、数字が大きいほど余裕があることとなります。

H22年度順位	市町村名	指数	H21年度順位
1	六ヶ所村	1.580	1
2	東通村	1.058	2
3	八戸市	0.673	3
4	青森市	0.540	4
5	三沢市	0.481	6
37	新郷村	0.130	37
38	佐井村	0.107	39
39	風間浦村	0.104	38
40	西目屋村	0.097	40
平均		0.334	

H22年度順位	市町村名	指数	H21年度順位
1	六ヶ所村	5.5	1
2	野辺地町	9.0	2
3	横浜町	10.8	3
23	鶴田町	16.8	17
24	佐井村	17.0	29
25	中泊町	17.1	23
38	田舎館村	22.0	32
39	鱒ヶ沢町	24.1	33
40	黒石市	24.5	40
平均			16.6

実質公債費比率 17.0 (24位/40市町村)

一般会計と特別会計などの公債費
(毎年返済しなければならない借入金の元金と利子)

標準財政規模から普通交付税の需要額に
算入された元利償還金を差し引いた額

村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので、率の低い方が財政負担が低いこととなります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

H22年度順位	市町村名	指数	H21年度順位
1	六ヶ所村	70.4	2
2	平内町	74.7	4
3	新郷村	80.6	15
14	つがる市	85.0	16
15	佐井村	85.2	8
16	おいらせ町	85.3	19
38	むつ市	95.4	36
39	鱒ヶ沢町	96.8	40
40	黒石市	97.5	27
平均		86.4	

経常収支比率 85.2 (15位/40市町村)

経常的経費(毎年欠かさず必要となる支出)

経常一般財源(使い道が限定されていない毎年繰り返し入ってくるもの) + 減税補てん債及び臨時財政対策債

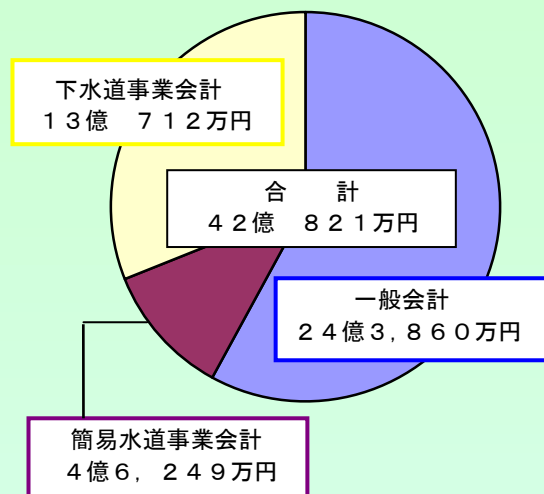
人件費や公債費、扶助費(福祉施設の入所に伴う費用など)など、毎年必要になる支出で、容易に切り詰めることが難しいものの割合のことです。指数が低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということになります。

佐井村の借金状況は？

平成23年度末の見込みで、一般会計をはじめすべての会計を合わせて約43億円の借入れがあります。村民1人あたりでは約172万円になります。借入れの内訳は右図のとおりですが、実際は、これに利子を加えた金額を分割払い（10～30年間）で、返済していくことになります。

公共施設や下水道施設のように、建設にたくさんの費用がかかり、しかも、何十年も利用されるものは、もし借金をしないとすれば、当座の資金繰りが難しいだけでなく、建設する時代に生活している村民だけが大きな負担をすることになってしまいます。そこで、一般の住宅ローンと同じように借入れを利用し、毎年少しずつ返済していくことによって、将来にわたってその施設を利用する村民の負担を分かち合うようにしています。

借入金の内訳
(平成23年度末見込み)



貯金の状況は？

平成23年度末の見込みで、約10億9千万円の貯金がありますが、このうち大半を占めるのが水産振興基金の約6億1千万円で、この基金は原則として元金の取り崩しができないものとなっています。財源の不均衡を調整できる財政調整基金は平成16年度より年々増加しつつありましたが、村税や地方交付税などの歳入の減少に歯止めがかからず、財政調整基金や、村債管理基金を取り崩して収支の均衡を図らなければならない状況にあります。

貯金の内訳 (平成23年度末の見込み)	
貯金の種類	金額
財政調整基金	2億 7,243万円
村債管理基金	1億 4,274万円
水産振興基金	6億 576万円
その他の基金	1億 3,184万円
計	11億 5,277万円

— 平成24年度予算の特徴 —

各家庭に設置されている小型画像情報端末機（サイボード）を利用して、高齢者の見守りや支援を行い、安心して暮らせる村づくりを展開します。村民を対象とした各種がん検診を無料化し、受診しやすい体制を整えて病気の早期発見・治療を行い、年々増加傾向にある医療費の抑制を図るとともに、誰もが生涯健康で生活できるよう、疾病予防に対する意識の啓発活動に努めます。建設事業としては、川目・磯谷・長後地区の集会施設の改修工事や、並型魚礁設置工事、橋梁の長寿命化のための修繕工事などを行っていきます。また、第4次長期総合計画（平成23年3月策定）の重点戦略プロジェクト事業として、「あおい環」経済戦略ビジョンに基づき、S a i ツーリズム構築推進プロジェクト事業を行います。地域資源（歴史、文化、自然、伝統芸能など）を活かし、都市との交流を促進して地域の活性化を図り、地元農林水産物の消費拡大により、地域産業の振興を目指します。従来の「通過型観光」から、漁業体験と観光を組み合わせるなど観光事業の発掘により、経済効果の高い観光振興に取り組めます。以上が主な施策となっていますが、歳入の大半を占める地方交付税は、国勢調査人口に左右されるため大幅な減額が見込まれるなど、村を取り巻く環境は一層厳しいものとなっています。今日までの施策や事務事業の整理を行い、さらなる行財政改革の意識を明確に持って財政の健全化に努めます。



中学生による村づくりへの提言(佐井中学校)